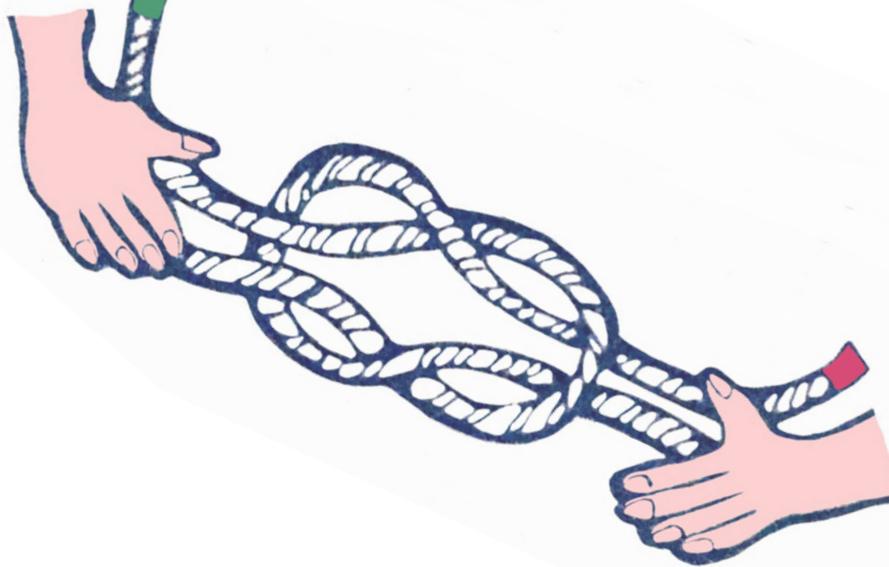


プチさくらそう Vol.2

Go!Go!Camp!

つながる WA♪



今年は埼玉県連盟創立 55 周年にあたり、8/17～8/19 に県連キャンプ「Go!Go!Camp! つながる WA♪」が、戸隠ガールスカウトセンターでスカウト 108 名（ジュニア 70 名 シニア 27 名 レンジャー 11 名）、成人会員 59 名 合計 167 名参加し開催されました。

このキャンプでは、多くのユースリーダーも参加しました。
参加されたユースリーダーで広報・財政委員でもある長谷川天音さんに、インタビューしましたので今回はそのご報告です。

例年、団キャンプに参加していましたが、今年には県連キャンプが開催されることもあり、団を挙げて県連キャンプに参加しました。

担当がマネジメント部門とプログラム部門とわかれ、プログラム部門のユースリーダーはユニットリーダーとして、主にスカウトたちのパトロールについてキャンプ活動を支えました。

コロナ禍の影響で、テント訓練があまりできなかったことも影響しているのか、テントの設営に四苦八苦するスカウトたち。

ユース年代のスタッフも、久々のテントの設営のせいか、ふと、これでよかったかなと迷いが生じて、スカウトへの指示が中断してしまったり、テーブルなどのクラフトでも自分で行うことと教えることでは大違いで戸惑ってしまったり…火おこしが不慣れなスカウトが多く、なかなか火がつかなくて焦ってしまいそうにもなりました。

心の中では、アタフタしつつも、スカウトには「だいじょうぶだよ」と声をかけ、頼もしいユースの姿を見せる努力をしました。



これまでシニア・レンジャーではキャンプファイアーの出し物の企画などキャンプの裏方的な仕事もしてきましたが今回のような大きなキャンプでの仕事は初めてです。次のプログラムの時間を気にしつつ、スカウトの動きに気をまわして…次から次に、やるべきことがありました。スカウトへの声のかけ方やペグ打ちなどを指導するときの見せ方など、スカウトの時には気付かなかった年長リーダーたちの姿をこれまでにない尊敬のまなざしで見つめました。そして、キャンプを安全に楽しいものにするために、打ち合わせや確認をくりかえし行う必要性を理解しました。

県連キャンプでは団活動だけでは経験できないことがたくさんあります。

大人数での活動は、何をするのもいつもと違う体験ですし、特に同世代のユースたちとの交流ができたことはとても大きな体験でした。

部門が上がるごとに、仲間が少なくなっていくことが寂しかったですが、ここにはこんなに仲間がいる！！と知ることが出来たことは、これからの私のガールスカウト活動の励みになりました。

同世代との交流のなかで他団の活動の様子や課題等を共有することができたのは有意義なことでした。

ひとつひとつ、お伝えしたいという思いがありますが、言葉にできないくらい、色々な体験・経験です。大変だったけど、それが楽しい！！ひとことでいえば、参加してよかった、に尽きます。

これからも県連でおこなう行事へ参加したいですし、ユースの皆さんへは、参加しようよ、楽しいよと声をかけたいです。

一般社団法人ガールスカウト埼玉県連盟
E-mail : info@girlscouts-saitama.or.jp

「プチくらそう」は、ユースの活動や活躍をお伝えする一般社団法人ガールスカウト埼玉県連盟の刊行物です。

